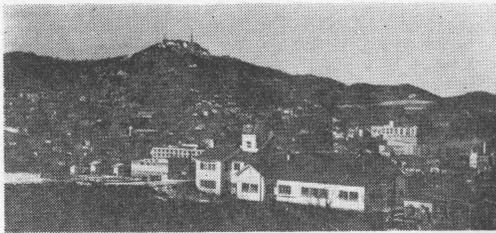


地方だより



室蘭地方気象台とテレビ塔のある測量山

室蘭地方気象台



気象台高台より見た初冬の室蘭市街と港

内浦湾と太平洋に馬蹄形に突出た室蘭半島——室蘭はアイヌ語で「モルエランコタン」(坂をおりたところの村の意)と呼ばれたのが始まりとか……その昔この高台に住むアイヌの酋長が毎日坂を下りて海岸に出た事よりこの名が生れたと言はれる。この坂道や、海岸はかつては、若きアイヌ、メノコの恋物語りを数多く秘めたであろうこの土人部落も今はご承知の通り市制40年開港90年を迎えた人口約16万の文化的重要港湾都市であり、戦前、戦後を通じての屈指の工業都市に発展した。

室蘭音頭

ハアー 鉄かをはがねか 鉄かをはがねか あの娘の固さ
 こちらは熔鉄炉で ソレ 胸こがす
 熱いネ 熱い情で ヨイトサッサ
 心とけずにおくものか サテモサッテモ
 ミナトむろらん ヨイトコロ

気象台は海拔40米余の高台にあり、市街中心地や港が一目に眺められ、港の前方には昭和南山や、薄化粧した羊蹄の嶺が……また内浦湾に横たわる渡島半島には駒ヶ岳の美しい姿が秋晴れの蒼空に望まれる。

秋も深い今日此の頃では室蘭も最低気温 5°C 前後の日も多く、朝夕の冷え込みも日増に強くストーブの傍が恋しく、また軒下に吊された大根の白さにも冬近きを感じずる時候となって来た。近郷の登別、洞爺湖温泉の観光地もすっかり紅葉、その趣を異にし、今年最後の行楽を楽しむ家族連れや、新婚さんも数多く肩を寄せ合う姿は微笑ましくまた羨しき眺めである。

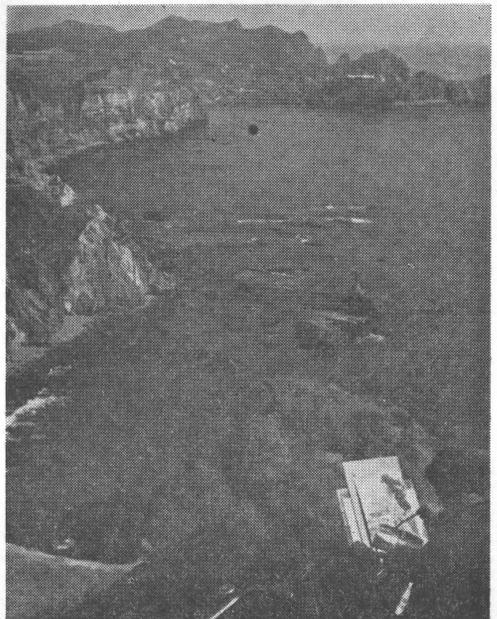
今年夏は台風の北海道襲来が続き、特に9号 Nora 嬢、10号 Opal 嬢のお転婆さんの訪問で、胆振管内も各地に洪水、崖崩れ、浸水の被害が多く、室蘭でも日量 119 耗、管内では総雨量 200 耗以上を記録した所もあった。冬期は降雪少く、気温も北海道としては高温で凌ぎよい所であるが、夏期の降雨、台風期は大雨に見舞われるこ

とが屢々で予報担当者は雨が降ると神経をつかうことである。

なお今春以来始められた水害業務で職員一同何かと忙しい事であったが、去る10月17日より無線ロボット観測所2カ所、中継所1カ所の器材据付け及びテストがメーカー明星電機の手によって行なわれ、25日終了した。

来春からはこの新規業務が開始されるわけであるが、今後の雨予報に大いにプラスされる事と思はれる。

ハアー 眺めつきない 眺めつきない 測量山は
 ビリカメノコの ソレ 窓の山
 誰れがネ 誰れがつけたか ヨイトサッサ
 恵比須大黒福の島 サテモサッテモ
 ミナトむろらん ヨイトコロ 以上
 (11月1日成田記)



室蘭半島増市浜海岸